

敬老の日、メッセージカードで感謝を伝える

社北公民館から、敬老の日に向けて、地区に住んでいるお年寄りの方々に子どもたちが書いたメッセージカードを贈れないかとの相談がありました。日頃、見守り活動や学校の美化でお世話になっている方々への感謝を伝えるよい機会だと考え、協力することになりました。

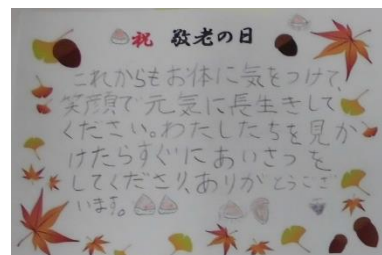
社北地区には800名を超える高齢者の方が住んでいらっしゃるので、全校児童でメッセージカードを書くことにしました。特に、総合的な学習で、障がい者や高齢者の福祉を学ぶ4年生には頑張ってもらい、1人あたり4人の方々にメッセージを書きました。

カードには、「おじいちゃん、おばあちゃんのすきなたべものはなんですか。ぼくは、ブルーベリーです。これからも元気でえ顔でいてください」や「オリンピックはすごかったですね。おじいちゃんおばあちゃんは、どのスポーツがおもしろかったですか？これからも、長生きしてください」とお年寄りに問いかけながら、子どもたちの素直な感謝の気持ちが表現されていました。

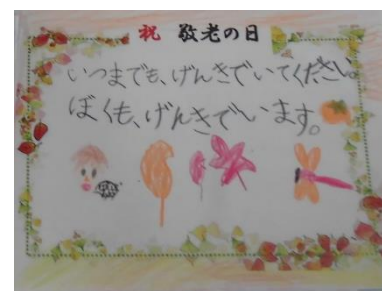
例年であれば、社中学校体育館で75歳以上の方をお招きして社北地区の敬老会が開催されますが、コロナ禍のため、米寿を祝う会のみが社北公民館で9月18日に行われました。当日、4名の方が参加され、公民館長さんからお祝いのお話とお祝いの品が贈られました。このお祝いの品に、子どもたちが作ったメッセージカードが添えられていました。

敬老会に参加できなかった75歳以上の方々には、各地区の福祉委員さん達がお祝いの品を届けられたようです。

こども達が生きたメッセージを読んでいただいて、これからも元気な笑顔で過ごしていただきたいと思います。



メッセージカード



メッセージカード



公民館での「米寿を祝う会」



メッセージカードが添えられたお祝いの品